

令和7年度「こうた女性の会」の現況と今後のあり方

令和7年4月1日現在

「こうた女性の会」は、「明るい家庭と住みよい町づくり」を目指し、70年以上に渡って活動を続けてきた女性の自主的な社会教育団体です。幸田町からも、幸田町教育研究会（教員組織）や幸田町PTA連絡協議会（PTAの連合体）、文化協会などと同様に正式な教育団体として認められており、現在は町からの補助金を中心に運営しています。

具体的な活動としては、町長さんと語る会を中心とした「町政と住民を繋ぐ活動」を始め、中学生着付け教室や町行事への参加、花壇づくりなどの「地域貢献・奉仕活動」、防災を中心とした研修や手作り味噌づくり講座などの「学習活動」を行っています。また、幸田町赤十字奉仕団（こうた女性の会会長が委員長を兼務）の一員としての「日赤奉仕団活動」や、「こうた女性の会衣裳室（町民会館内）」を経営してレンタル衣裳を安価で提供する活動にも取り組んでいます。

しかしながら、様々な団体において組織離れが全国的な話題となっていますが、こうた女性の会も例外ではありません。20年程前から、こうた女性の会に参加する「区女性の会」は減少し、フルタイムで働く女性が一般化したここ10年程は、その傾向が顕著です。そして今年度、最後まで残った「岩堀区女性の会」も、次年度、区の組織から女性の会がなくなるため、解散することになりました。

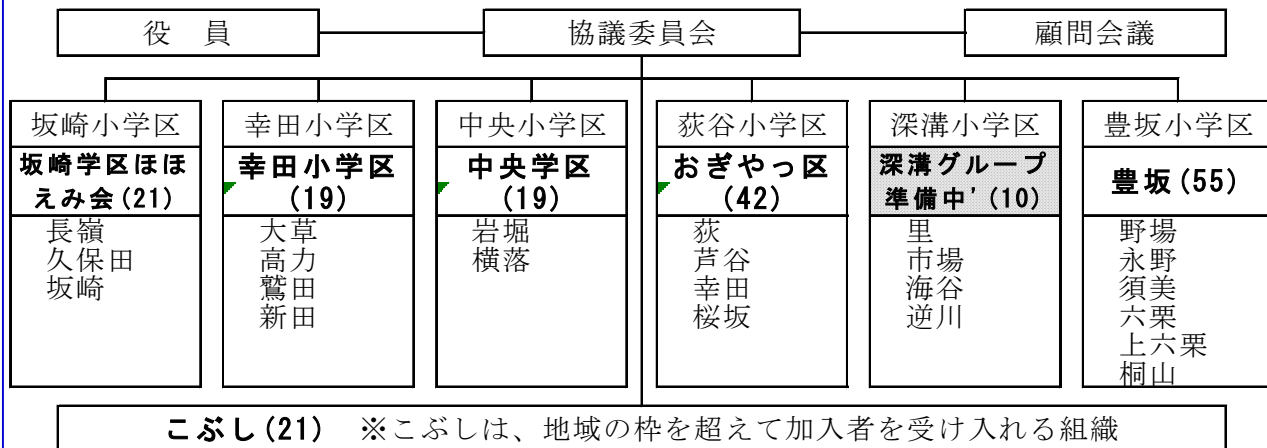
その一方で、女性の社会参画や防災（女性目線の対策）などの観点から女性の会への期待が高まっており、「こうた女性の会をもう一度、町全体を網羅した組織にする」というのが町の方針となっています。こうした流れを受け、こうた女性の会では、活動内容を精選して会員の負担軽減を図るとともに、これからの女性の会の核となる有志による小学校区単位の女性の会の設立を進めてきました。

その結果、深溝小学区を除く5つ小学校区（深溝小学区は設立準備中）で学区女性の会が活動しています。そして、解散した岩堀区女性の会に替わり中央学区女性の会がコミュニティの組織として認められたことにより、次年度はすべての学区女性の会が、コミュニティの組織に加えていただくことになりました。また同様に、すべての学区女性の会に、次年度よりコミュニティの予算（創立150周年記念のある幸田小学区は、令和8年度より）をつけていただくことになりました。

これらの組織面の変化により、こうた女性の会は、今年度より奇しくも有志によって設立された女性の会のみの組織となります。今後、全町から会員が在籍している「こぶし」を加え、6つの女性の会の連合体として、「町政と住民を繋ぐ活動」や「学習活動」などに力を入れるとともに、深溝学区での女性の会の正式な設立に努めてまいりますので、今後も、ご理解とご支援をお願いいたします。

参考資料 ＜「こうた女性の会」の組織図＞

（R7年度：会員総数（4月1日現在）…187名



※（ ）内は会員数。太字は「こうた女性の会」に所属する会。網掛けは設立準備中